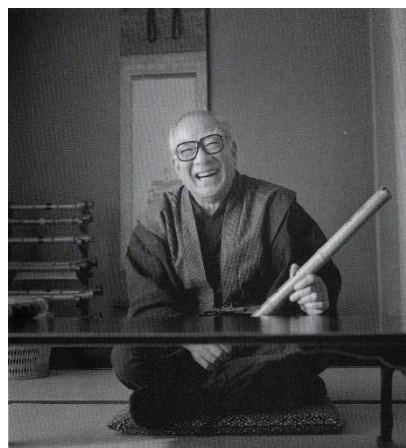


和田亮介様（高1期・第五代会長）ご逝去の追悼の辞

令和3年5月25日、当会第五代会長 和田亮介様（89歳）が松江でご逝去されました。和田様は昭和6年、宍道町の旧家・木幡家「八雲本陣」の次男のお生まれで、昭和19年旧制松江中学（69期）入学、昭和25年新制松江高校（1期）を卒業され、島根大学卒業後、大阪の実業界で、また執筆の世界でご活躍されました。

（和田哲（現ワテックス）会長、大阪商工会議所常議員、近畿島根県人会会長、日本ペンクラブ会員、日本エッセイストクラブ会員、山陰尺八道場二代目道場主、藍綬褒章、大阪文化功労賞）



エッセイ集「ご隠居天国」から

当会との関係では昭和42年の「近畿松江高校・松江北高校同窓会」発足時の初代会長になられ、平成3年の同会の発展的解消に至るまで、旧制松江中学を基盤とする旧「近畿双松会」から、今日の新「近畿双松会」に至る架け橋としてご尽力をいただきました。平成8年から14年までは第五代会長として、特に平成14年の選抜高校野球21世紀枠出場応援の際には陣頭に立ってリードされ、その後も当会と我々後輩をあたたく見守っていただきました。

平成18年にはふるさと会「近畿松江会」の創設を主導されるなど、ふるさとへの思いは人一倍お強く、平成27年、母校が見えるところで余生を過ごすこととされ、松江に帰られましたが、執筆活動のかたわら、当会にも常にご関心をお寄せいただいております。

当会の長い歴史の中でも、中興の礎を築いていただいたお一人でいらっしゃることを皆様にお知らせし、当会へのご貢献と我々後輩へのご薫陶に深く感謝申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。僭越ながら筆をとらせていただきました。合掌

近畿双松会会長 松本耕司（16期）

■追記：和田様は著名なエッセイストでいらっしゃいました。ご遺族様から満中陰志としていただきましたエッセイ集「ご隠居天国」を当会ホームページに掲載（令和3年8月7日）していますので、ご覧いただければ幸いです。

和田様の明るく豪快な、そして洒脱なお人柄は忘れることができません。最後にいただいたお便りは昨年正月で、コロナの退散を願うものでした。お得意の筆さばきでサラサラと描かれた「丑」のデッサンを見ながらあらためて故人を偲ぶことしきりです。添えられていた言葉は、真に和田様らしく、「コロナ去り ウシシと笑える 丑の年」でした。「寅」の年、早くそうなりますよう・・・

